

## 災害ボランティアセンターで行っていること 主なもの:3

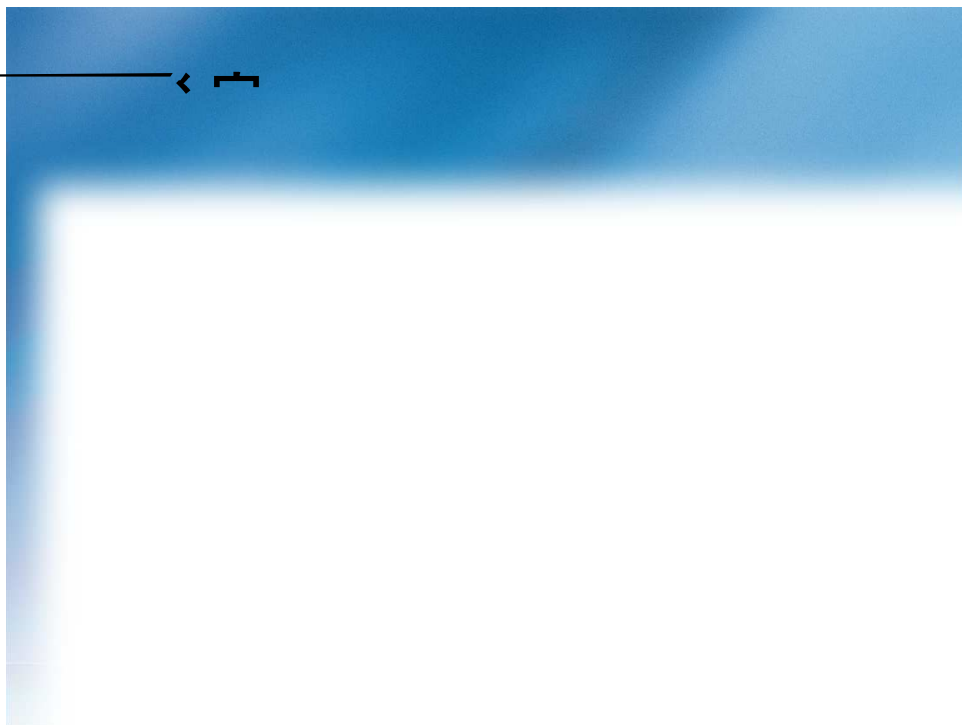
- 11 苦情対応
- 12 支援活動プログラムの開発・実施
- 13 活動保険加入のための事務
- 14 活動資金の調整・調達
- 15 事務処理(庶務や会計処理など)
- 16 被災者の生活支援  
(回復、復興期を想定した被災者の生活支援など)

3

## 社協が災害VCを設置する意義

1. 日常的に住民と接し、特に地域の支援者と繋がりがある機関。
2. 行政や幅広い機関・団体とも関係を構築し易い。
3. 福祉サービス事業者として要援護者を把握している。
4. 全国的なネットワークを有し、協力が得られる体制にある。
5. 民間としての機動力がある。
6. これまで、社協として災害支援のノウハウを蓄積している。
7. 地域の生活課題を把握し、解決する役割を有している。(使命)
8. 災害VC閉所後も社協の本来的機能として被災者の生活支援、被災地の復興支援にあたる「逃げない」組織である。  
以上のことにより、社協が災害VCを担うことが関係者の間で一定の合意が得られている(組織内や地域防災計画において)

4



## 災害時には、災害由来の 「困りごと」が一気に増えます。

- ・ 避難したけど、物資がない
- ・ 暑い/寒い/狭い/衛生状態が悪い、プライバシーがない
- ・ 地震で家が壊れた
- ・ 家の中がぐちゃぐちゃ、家の中が泥まみれ
- ・ 家の前に大量の流木や土砂が流れ着いた
- ・ 営んでいたお店が壊滅状態
- ・ ビニールハウスが倒壊、栽培していた野菜がだめになった
- ・ お金や通帳を紛失した
- ・ 病院に行けず、薬が切れた。透析にも行きたい
- ・ 車がつぶれて、買い物に行けなくなった
- ・ ペットがいて、避難できない
- ・ 言葉がわからず、避難の仕方がわからない などなど

7

## 災害時の社協・災害VCの状況

- ・ 初めての経験の中、誰なのかも、よくわからない人が続々と集まってくる騒然としたムード
- ・ どれだけ人が押し寄せてくるのかという不安
- ・ 誰も来なかったら、どうしようという不安
- ・ 災害VCを通じ被災住民の生活課題全般に関わる一方、日頃から抱えている事業もある。
- ・ 求められる業務は、平時に比べ膨大に膨らむ。
- ・ 明らかにキャパシティを超えた負担になる。

8

## 災害時の社協・災害